

視覚障害者のための日本語学習基礎レベルにおける  
オーディオリングメソッドの適用

ジョグジャカルタ YAKETUNIS 会員における質的記述研究

ファリス・アル・フサイニ

2012 056 0006

要旨

人は誰しも適切な教育を受ける権利があり、視覚障害者も例外ではない。視覚障害者に向けた教育は、学生の状況に応じた方法と学習目的によって実施されるものである。ここで使用される方法の1つは、オーディオリングメソッドである。オーディオリングメソッドは言語、特に外国語の学習と教育の1つの方法である。この方法は、1950年代後半、はじめて米国ミシガン大学の Charles Fries という英語専門家であり言語学者により導入され、現在もまだ開発中である。日本語能力は、世界の言語の内、最も役立つとされる10か国語の内の1つである。また、ジョグジャカルタは日本からの観光客を含み、国際的な観光客がよく訪れる目的地である。したがって、将来的問題に備えられるように視覚障害者の知識を向上させるための適切な支援が必要とされると考える。

この研究では、記述的且つ定性的方法を使用し、研究のサンプルは、16～30歳の YAKETUNIS の学生とする。評価手法としては観察とインタビューのガイドラインの使用とした。

このオーディオリングメソッド方式の適用に対する学生の反応は良好なものであった。このことは学生へのインタビューの結果から確認することができた。これらのデータにより、肯定的効果をもたらすことが分った。

キーワード：オーディオリングメソッド、視覚障害者、日本語

## I. 序論

人は誰しも自分の能力に合う適切な教育を受ける権利があり、身体障害者も例外ではない。視覚障害者に向けた教育は、学生の状況に応じた方法と学習目的によって実施されるものである。使用される方法の1つは、オーディオリングメソッドです。視覚障害者教育の目的は、生活の質向上のためのスキルを提供することである。日本語能力は、世界の言語の内、最も役立つとされる10か国語の内、1つです。

本研究では「視覚障害者のための日本語学習基礎レベルにおけるオーディオリングメソッドの適用」と題し、日本語基礎レベルにおけるオーディオリングメソッドを YAKETUNIS（イスラム盲人福祉財団小中等部）在校生へどのように適用したのか、また、YAKETUNIS 在校生がオーディオリングメソッドに対しどのように反応したのかを定式化している。本研究の目的は、初級レベル日本語学習を目的とするオーディオリングメソッドの YAKETUNIS における適用について、及び、これらの方法の適用に対する YAKETUNIS の学生の反応を明らかにすることである。

視覚障害者である学生たちの将来の課題として、常に外国語が話せるよう要求されているということがある。そこで、視覚障害者のためのかなり活動的なフォーラムとしてのイスラム盲福祉財団（YAKETUNIS）にて特別なニーズを持つ生徒たちむけの日本語教室を開催することが必要と考えた。また、視覚障害の特別なニーズ向けに日本語を勉強できるように特別なメソッドも必要であると考えた。それがオーディオリングメソッドである。

上記の背景に基づき、次の問題を策定した：

1. YAKETUNIS の生徒向けの初級日本語を学習するためのオーディオリングメソッドをどのように適用するか？

2. YAKETUNIS の生徒向けの初級日本語を学習するためのオーディオリンガルメソッドの適用に対する生徒の対応はどのようなものであるか？

この研究の目的は、上記のすべての問題に答えることである。この研究の目的は次のとおりである：

1. YAKETUNIS の生徒向けの初級日本語を学習するためのオーディオリンガルメソッドの適用のしかたを理解すること
2. YAKETUNIS の生徒向けの初級日本語を学習するためのオーディオリンガルメソッドの適用に対する生徒の反応を理解すること。

## II. 先行研究の紹介

ワフユニ（2012）の学位論文によると、日本語の長音と促音を勉強するには支障を経験する生徒が少なくないことが分かる。ワフユニはこの研究で SMKN 1 カタパンのテキスタイル 1 の三年生をサンプルとし、日本語の発音を勉強にオーディオリンガルメソッドアプローチ及びドリル方法を使用した。その研究により、オーディオリンガルメソッドは日本語の発音の理解を向上する上でかなり効果的という結果が得られている。

## III. データおよび研究の方法

この研究では、記述的且つ定性的方法を使用している。質的記述の方法は体系的に研究の対象になるグループを調べ、及び結果の現象を表すという目的で用いる。評価手法としては観察とインタビューのガイドラインを使用した。この研究におけるデータ分析技術は、データ整理、データ提示、検証である。

## IV. 分析の結果と考察

本研究の結果は、YAKETUNIS 在校生の初級レベル日本語学習におけるオーディオリンガルメソッドの適用を、3段階に分けて実施すること

によって得られたものである。第一段階は、教材検討、および事前の教材の吟味。第二段階は、新しい語彙と文型の導入と、その際のいくつかのオーディオリンガルメソッドアプローチを使用した演習の実施。第三段階は結論である。このオーディオリンガルメソッド方式の適用に対する学生の反応は良好であった。このことは学生へのインタビューの結果から確認された。これらのデータにより、YAKETUNIS 在校生の初級レベル日本語学習におけるオーディオリンガルメソッド法の適用は、視覚障害者である YAKETUNIS（イスラム盲人福祉財団小中等部）在校生に、肯定的効果をもたらすことが分かった。

## V. まとめ、おわりに

本研究の結果は、YAKETUNIS 在校生の初級レベル日本語学習におけるオーディオリンガルメソッドの適用を、3 段階に分けて実施することによって得られたものである。第一段階は、教材検討、および事前の教材の吟味。第二段階は、新しい語彙と文型の導入と、その際のいくつかのオーディオリンガルメソッドアプローチを使用した演習の実施。第三段階は結論である。このオーディオリンガルメソッド方式の適用に対する学生の反応は良好であった。このことは学生へのインタビューの結果から確認された。これらのデータにより、YAKETUNIS 在校生の初級レベル日本語学習におけるオーディオリンガルメソッド法の適用は、視覚障害者である YAKETUNIS（イスラム盲人福祉財団小中等部）在校生に、肯定的効果をもたらすことが分かった。

YAKETUNIS の生徒向けの初級日本語を学習するためのオーディオリンガルメソッドの適用は活動的で、うまく行われた。生徒たちは日本語のレッスンがよく理解できたが、中には、勉強中に十分注意を払わないため、たまに支障を経験する何人かの生徒もいた。したがって、教えてあげた単語と文法を何回も繰り返すことが必要になった。繰り返すドリ

ル方法のアプローチを通じて、生徒たちは日本語のレッスンをよく理解できた。全体的に、オーディオリンガルメソッドは視覚障害の状態に適しているといえる。

## VI. 参考文献

- [1] Confederation of British Industry. 2016. “*Education and Skills Survey 2016*”. Diakses pada 19 September 2019 pukul 15.33 WIB.  
<http://www.makingthemostofmasters.ac.uk/media/microsites/mmm/documents/cbi-education-and-skills-survey-2016.pdf>
- [2] Eggen & Kauchak. 1998. *Methods for Teaching*. Jakarta: Pustaka Pelajar.
- [3] Osamu Kamada, dkk. 2007. *Nihongo Kyoujuhou Wakuushoppu*. Tokyo: Bonjinsha.
- [4] Seels, B.B. dan Glasgow, Z. (1990). *Exercises in Instructionals Design*. Columbus: Merril Publishing Company.
- [5] Sudjana, Nana. 2005. *Dasar-Dasar Proses Belajar Mengajar*. Bandung: Sinar Baru Algesindo.
- [6] Sudjianto. 2009. *Metodologi Pembelajaran Keterampilan Berbahasa Jepang*. Bandung: Jurusan Pendidikan Bahasa Jepang FPBS UPI.
- [7] Sutedi, Dedi. 2004. *Penelitian pendidikan Bahasa Jepang*. Bandung: Humaniora utama press.
- [8] Sugiyono. 2014. *Metode Penelitian Kuantitatif, Kualitatif dan Kombinasi*. Bandung: Alfabeta.
- [9] Tarigan, Henry Guntur. 1991. *Metodologi Pengajaran Bahasa I*. Bandung: Penerbit Angkasa.

- [10] The Japan Foundation. 2012. “*Survey on Japanese–Language Education Abroad 2012*”. Ministry of Foreign Affairs of Japan.  
<http://www.mofa.go.jp/policy/other/bluebook/2016/html/chapter3/c030402.html>
- [11] Wahyuni, Yuli. 2012. *Efektifitas Pendekatan Audio Lingual Pada Pengajaran Hatsuon: Studi pra eksperimen terhadap siswa SMKN 1 Katapang kelas XII Tekstil 1*. S2 thesis, Universitas Pendidikan Indonesia.
- [12] Visitindonesia.jp. Desember 2017. *Jumlah pengunjung warga Jepang ke Indonesia pada tahun 2017*. Diakses pada 19 September 2018 pukul 22.10 WIB.  
<http://www.visitindonesia.jp/media/pdf/data201712.pdf>